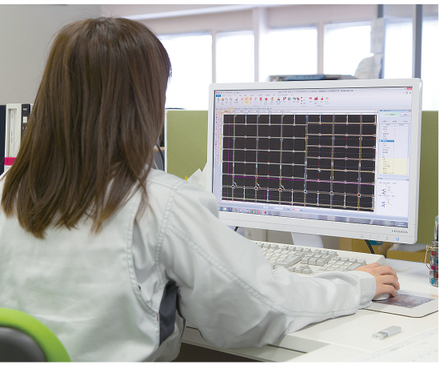
オカモト鐵工 株式会社

▶対 象 類 型　精密加工
▶事 業 類 型　一般型　設備投資
▶主たる目的　技術革新

高速位置決め機能付CNCドリルマシンの導入による高精度穴明け加工技術の確立







2 3 1

1／今回の事業で導入された、高速位置決め機能付CNCドリルマシン。製図用CAD穴明けデータをUSBメモリから取り込み、機械が自動的にドリルの位置を決めることで、穴明け精度は100％になる。 2／ドリルマシンで穴明け加工した鋼板。これまで自社対応出来なかった複雑な形状の穴明け加工も行えるようになった。 3／オカモト鐵工は女性の採用を積極的に進めている。学生時代に専門分野で学んでいない人でも、入社後の指導により、パソコンを使って製図できるようになる。

穴明け加工の高精度化と、生産力強化を実現。

オカモト鐵工は創業以来、鉄骨の部材や建物、橋などの設計・製作・施工を行い、福井県内をはじめ日本各地に幅広い市場を持っている。近年は、耐震・免震部材や高速鉄道橋梁用部材の品質要求が高まり、特に建築現場で部材同士を繋ぎ合わせるために使う「接合部材」への穴明けに関して、ミリ単位まで狂いのない高精度な加工を要求されてきた。しかし、型紙を使って手作業で行う加工には熟練の技術が必要であり、自社の作業員だけで全てに対応することは難しかった。

そこで本事業では、コンピュータ数値制御によって高精度の穴明けが可能で、かつ複雑な形状の鋼板の穴明けも得意とする「高速位置決め機能付CNCドリルマシン」を導入。鋼板を機械にセットするだけで、事前に読み込んだ図面通りの位置に穴明けを行えるようになった。また、これまで30％を外注していた複雑な形の鋼板の加工に自社で対応できるようになり、納期の短縮と低コスト化を実現した。穴の位置が設計図面と完全に一致するため、建築現場での作業がスムーズになり、顧客からの信頼も高まった。今後は加工の技術をさらに磨いて他社との差別化を図り、市場競争力の強化を目指していく。

注目すべき成果

生産能力の向上とコストの削減を実現。

ドリルマシンの導入後は、従来の手作業に比べ、1日当たりの穴明け加工量が30枚増加。これまで外注していた複雑な形の鋼板の加工を自社で行えるようになり、約25％のコストの削減を実現できた。

事業活動の付加価値

労働環境の改善、人材の育成も可能に。

穴明け加工の作業能率が上がったことで、長時間労働の削減にも効果があった。また、経験の浅い作業員や力の弱い女性でも、簡単な操作で高精度な加工が出来るようになり、人材活躍の場が広がった。

今後の展望

高精度加工で信頼を高め、安定した受注の確保を。

本事業を通じて確立した高精度な加工技術をもとに、顧客からの信頼を高め、新規の受注拡大を目指す。また、3次元加工などの最新技術についても導入を検討し、さらなる生産性の向上を狙っていく。

ものづくり専門員から一言

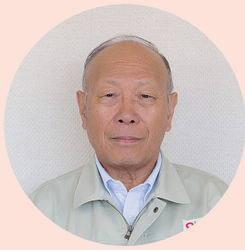
最新の技術を生かし、安全性の高い建造物を後世へ。

今回の事業で導入されたドリルマシンが担うのは、高層ビルや橋梁をつくる作業全体の中では小さな一工程だが、高品質な建造物をつくるための基盤となるものである。これまでに培われた技術と最新のテクノロジーを生かし、より安全性の高い建造物を後世に残してもらいたい。

こんな会社です！

お客様の要望を先取り、良質で安全な建造物をつくる。

当社は高層ビルや商業施設をつくる鉄骨部門と、橋梁部門の2部門からなり、各地で難易度の高い建造物を手掛けてきました。関東・中部・関西圏など、現在では事業全体の80％ほどが県外からの受注です。お客様のあらゆる要望に応えるだけでなく、工事着手前に社内で作業工程の問題点を洗い出し、事前に対策を打つなどの「先取り型品質管理体制」を確立しています。今後も新しい技術を積極的に取り入れ、よりハイレベルな提案・設計・施工を目指すとともに、安全な建造物を通して社会の発展に貢献していきたいと思います。



代表取締役社長
岡本 征雄さん



“夢が原動力”というテーマを掲げるオカモト鐵工。社員が一丸となり日々の業務に励んでいる。



本社・工場

オカモト鐵工 株式会社

代表者／ 代表取締役社長 岡本 征雄
設立／昭和31年（1956年）2月
（創業 昭和26年）
資本金／7,500万円
従業員数／80人
事業内容／鉄骨、橋梁、水門、その他鋼構造物の設計・製作・施工
売上高／35億円（平成28年12月）
〒910-0142 福井市上森田1-102-2
☎0776-56-1155　FAX.0776-56-1459
E-mail okmt@okamoto-tekkou.co.jp